



平成22年12月24日

瀬戸内地域のニーズに合致した衛星の利活用を目指して

超小型衛星利用開拓×瀬戸内ワークショップ開催のご案内

中須賀真一（東京大学工学研究科航空宇宙工学科）
能見公博（香川大学工学部知能機械システム工学科）

国家レベルでの活動領域であった宇宙開発において、近年、民間の参入が目立ってきています。衛星画像や衛星で収集したセンサーデータを使ったサービスを提供する企業が世界各地で設立されるようになりました。そうした衛星利用ビジネスの分野において、日本が厳しい競争を生き残るため、東京大学の超小型衛星センターを軸として、日本発の「ほどよし信頼性工学」を導入した超小型衛星(50cm 立方、重量 50kg サイズ)による新しい宇宙開発・利用パラダイムの構築を目的としたプロジェクトを開始いたしました（最先端研究開発支援プログラムとして採択）。本プロジェクトでは、超小型衛星の利用を広く普及させることで、誰もが気軽に宇宙を利用できる環境をつくり、みなさまと共にあって、日本における宇宙利用の場を活性化させていきたいと考えております。

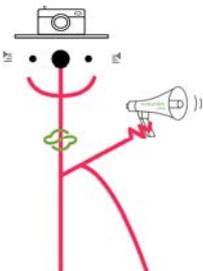
超小型衛星利用開拓×瀬戸内ワークショップ開催

このたび、瀬戸内地域の特色が活きる宇宙利用方法の開拓や宇宙の実利用を通じた瀬戸内地域の活性化を図るために、2011年1月6日に香川県高松市にて超小型衛星利用開拓ワークショップを開催する運びとなりました。本ワークショップでは以下のテーマを掲げます。

瀬戸内地域での現状・課題をリサーチして、衛星を利活用したソリューション(シナリオ)を紹介する

まず、地域活性化へ向けての取り組みが行われている現場で生じるニーズを明確に把握することが重要であると考えています。そして、そのニーズに直接応えることができるような形で衛星を利活用することで、課題に対するひとつのソリューションを提供することができないかと考えています。瀬戸内地域には、地域に根ざした問題として、養殖における赤潮被害をはじめとする瀬戸内海の環境問題が挙げられます。それらの問題の現状や課題を把握、整理し、衛星の機能と照らし合わせることで、現場のニーズにうまく合致するような衛星の利活用方法について考えを深めたいと思っています。また、衛星を利用したソリューションを考えることで、新しいビジネスへの展開も考えられます。衛星利用のための新しいシステムやネットワークの構築、あるいは衛星開発のサプライチェーンの一環として地元企業の宇宙産業への参入も期待されます。

本ワークショップでは、瀬戸内地域の方々に広く参加していただき、参加者の方々に、瀬戸内地域の活性化について共に考える場を提供させていただきたいと考えています。



▶ 総合問い合わせ先
超小型衛星センター TEL 03-5841-6972 / FAX 03-5841-6976
(丹羽) E-mail : niwa@nsat.t.u-tokyo.ac.jp
香川大学工学部庶務係 TEL 087-864-2000 / FAX 087-864-2032
(田所) E-mail sat-sec@eng.kagawa-u.ac.jp

超小型衛星利用開拓×瀬戸内ワークショップ プログラム

開催概要

日時：2011年1月6日(木) 13:30～17:45(懇談会 18:00～20:00)
会場：サンポートホール高松(高松市文化芸術ホール) 5F会議室
香川県高松市サンポート 2-1 高松シンボルタワー・ホール棟 5F
(懇談会会場：エスペリア (HESPERIA) 高松シンボルタワー・タワー棟2F)
共催：国立大学法人 東京大学 超小型衛星センター
国立大学法人 香川大学
後援：経産省四国経済産業局(予定)、総務省四国総合通信局、香川県
香川県商工会議所連合会、香川県商工会連合会
財団法人かがわ産業支援財団(予定)、宇宙航空研究開発機構(予定)
次世代宇宙システム技術研究組合
URL：<http://www.nano-sat.org/> (ワークショップのホームページ)

プログラム

司会：能見公博氏 (香川大学工学部 准教授)

挨拶：

13:30～13:35 一井眞比古氏 (香川大学長)

13:35～13:40 中須賀真一氏 (東京大学 教授、超小型衛星センター代表)

基調講演：

13:40～14:10

●超小型衛星による新しいパラダイムの構築

～内閣府最先端研究開発支援プログラムの目指すところ～

中須賀真一氏 (東京大学 教授、超小型衛星センター代表)

14:10～14:20 休憩

セッション1：瀬戸内地域の現状と課題

～瀬戸内地域の環境が抱えている課題やそれに対する取り組みについて紹介します～

14:20～15:50 (30分×3件)

司会：丹羽佳人氏 (超小型衛星センター)

●人工衛星で海の現象を見つめる (14:20-14:50)

本城凡夫氏 (香川大学瀬戸内圏研究センター長)

●瀬戸内海の環境診断・評価について(仮題) (14:50-15:20)

上嶋英機氏 (広島工業大学工学部 教授)

●林業生産の低コスト化支援の情報基盤として人工衛星画像を利用する取り組み

(15:20-15:50)

佐野俊和氏 (広島県立林業技術センター)

15:50~16:00 休憩

セッション2: ニーズに合わせて利活用される衛星

～衛星を利活用したソリューションの形について紹介します～

16:00~17:40 (30分×3件+10分×1)

司会: 田中利樹氏 (超小型衛星センター)

●人工衛星を利用したセンサー情報の収集(仮題) (16:00-16:30)

林友直氏 (東京大学 名誉教授)

●人工衛星画像を利用したソリューション提供事業の紹介(予定) (16:30-17:00)

●人工衛星データを用いた瀬戸内地域の環境情報解析 (17:00-17:30)

野々村敦子氏 (香川大学工学部 准教授)

●衛星ビジネスパイロットプロジェクトの紹介 (17:30-17:40)

丹羽佳人氏 (超小型衛星センター)

閉会挨拶:

17:40~17:45 能見公博氏 (香川大学工学部 准教授)

懇談会:

18:00~20:00

連絡先:

東京事務局: 東京都文京区本郷7-3-1

東京大学 超小型衛星センター 丹羽 佳人

TEL: 03-5841-6972

Email: niwa@nsat.t.u-tokyo.ac.jp

URL: ワークショップ参加申し込み関連 <http://www.nano-sat.org/>

超小型衛星センター <http://park.itc.u-tokyo.ac.jp/nsat/main.html>

超小型衛星利用開拓×瀬戸内ワークショップ 参加申込

ワークショップへの参加をご希望される方はワークショップ事務局まで、下記の事項をご記入いただき、E-mail もしくは FAX にてお申し込みをお願い致します。(定員は 100 程度予定しております) E-mail でお送り頂く場合には、表題に【超小型衛星瀬戸内ワークショップ申込】とお書き添えください。懇談会は事前予約制です。懇談会に参加される方は、当日の受付にて会費(3,000 円)を徴収させていただきます。

お申し込みフォーム

フリガナ		登録区分	一般 / 学生
お名前		所属	
住所	〒 -		
TEL		FAX	
E-Mail			
懇談会	参加 (懇談会は事前登録制で 3000 円の費用を頂きます。) 不参加		

【お申し込み先】次世代宇宙システム技術研究組合 (担当：里形)

E-mail : satogata.reiko@nestra.jp

FAX : 03-5842-2678

【連絡先】東京大学超小型衛星センター (担当：丹羽)

E-mail: niwa@nsat.t.u-tokyo.ac.jp

TEL: 03-5841-6972

FAX: 03-5841-6976

締め切り期日 : 2010 年 1 月 4 日 (火) 17 : 00